



平成26年度

第6回 みみらんどセミナー

「先輩の話を聞く会」

☆ 実施日時 ☆ 平成26年10月1日（水）

☆ テーマ ☆ 「子育てで大切にしてきたこと」

☆ 講師 ☆ 福島県立聾学校 保護者 室井亜希子 様

お子さんの誕生から現在に至るまでの母子のやりとりやことばを育てる取り組みについてお話をいただきました。出生後、「聞こえてないのでは？」と心配していた毎日から難聴と診断され、気持ちが固まった瞬間の思いや、幼稚部から毎日お子さんとやりとりしながら取り組んだ絵日記、ことばを育むための自作の教材などをご紹介いただきながら、お子さんとのやりとりの日々や我が子に対する思いについて、エピソードも交えながらお話をいただきました。

うまくいくことばかりではありませんでした。我が子のことばを育ていくためには、私自身、たくさんのエネルギーが必要でした。



おばあちゃんは、小さいときから、我が子をたくさん誉めてくれました。おかげでいろいろなことに自信を持って取り組める子に育ちました。

身近な物の写真を撮って、ことばカードを作りました。

担任の先生の薦めで、小学部1年生からスイミングに通いました。我が子は、首からメモ帳を提げ、健聴のお友達と進んでたくさんやりとりをしました。

絵日記は、我が子の成長の記録でもあり、宝物です。

○質問

今日の出来事の絵を描いて欲しいけど、関係ない絵を描いています。

○返答

お子さんが描いた絵を基に話をしてみましよう。絵日記は、ことばを育てるために書きます。無理に書き直すことはしないで、そこから、話題を作って話をすると、お子さんも楽しくことばのやりとりができますよ。

